

地域生活支援拠点等の整備促進、必要な機能の強化・充実のためのブロック会議 事例紹介 一覧表

| No. | 都道府県名 | 事例自治体(圏域) | 事例紹介 | ページ |
|-----|--------|---|--|-----|
| 1 | ブロック開催 | 事例1 熊本県菊池市 ((福)菊愛会)【整備済】 | 相談支援機能を中心とした多機能拠点整備型の事例 | 1 |
| 2 | | 事例2 鹿児島県鹿児島市 ((福)ゆうかり・鹿児島市) 【整備済】 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺の事業所と協働して面的に支えていくことを目標に「多機能拠点整備型面的整備モデル」を目指す事例 ((福)ゆうかり) ・ 中核施設と中核施設を支援する施設で面的ネットワークを形成し、地域全体で支援する体制とし、基幹相談支援センターと連携を図りながら運営する。(鹿児島市) | 19 |
| 3 | | 事例3 宮崎県 | あらゆる主体((自立支援)協議会等やコーディネーター等)の連携を視点とした整備の取組みの事例 | 54 |
| 4 | 山口県 | 事例1 宇部市【整備済】 | <p>専門相談窓口を中心に、既存の関係機関や地域支え合い包括を生かした事例(面的整備型)</p> <p>※ その他、厚労省から好事例集(平成30年3月)のうち、数事例を紹介</p> | 85 |
| 5 | 島根県 | 事例1 出雲市【未整備】 | 相談支援事業所を中心とする既存機能の強化及び地域におけるニーズ・課題に対応していく事例 | 101 |
| | | 事例2 雲南市【未整備】 | 各障害福祉サービス事業所や関係機関が保有する機能を組み合わせ、既存の社会資源や人的資源を結びつけていく事例(面的整備型) | 114 |
| 6 | 大分県 | 事例1 別府市【整備済】 | 市内全ての社会資源を活用できるよう、社会資源をつなぐ地域づくりを優先し、基幹相談支援センター及びコーディネーター配置等による相談機能のソフト面の整備を重視して進めた事例(面的整備型) | 125 |
| | | 事例2 大分市【整備済】 | 市内の各事業所等が連携して地域生活を支援するために、相談支援拠点の設置、市独自の緊急受入サービスの創設、緊急時支援体制の構築等について、整備のメリット・デメリットを協議しながら進めた事例(面的整備型) | 155 |
| 7 | 広島県 | 事例1 広島市【整備済】 | 基幹相談支援センターを中心に、主に「相談」、「緊急時の受入れ・対応」、「地域の体制づくり」の機能を重視している事例(面的整備型) | 185 |
| | | 事例2 廿日市市【整備済】 | 既存の各事業所の対応や連携体制を生かし、ニーズの高い「相談」、「緊急時の受入れ・対応」の機能を重視している事例(面的整備型) | 209 |
| 8 | 埼玉県 | 事例1 川越市【整備済】 | 24時間365日の連絡窓口を設置し、必要な機能を整え、「緊急時」を重視している事例(多機能拠点整備型) | 240 |
| | | 事例2 東松山市【未整備】 | 特定相談支援事業所やコーディネーターを中心に、「相談」、「緊急時の受入れ・対応」の機能を重視する事例(面的整備型) | 249 |
| | | 事例3 吉川市【未整備】 | 緊急時の相談、緊急一時受入等の実績がある法人を中心に、協議会と連携して地域の体制づくりを進めている事例(面的整備型) | 260 |
| 9 | 長野県 | 事例1 松本圏域【未整備】 | 行政や既存の総合相談支援センターが、強度行動障がい者の地域生活のために「相談」、「緊急時の受入れ・対応」の機能を重視し、相談支援事業所をバックアップしている事例(面的整備型) | 277 |
| | | 事例2 千曲・坂城地域【未整備】 | 複数の法人で運営している基幹相談支援センターが中核となり、特に緊急時対応の仕組み作りや体験の機会へ繋げる支援を重視する事例(面的整備型) | 292 |

地域生活支援拠点等の整備促進、必要な機能の強化・充実のためのブロック会議 事例紹介 一覧表

| No. | 都道府県名 | 事例自治体(圏域) | 事例紹介 | ページ |
|-----|-------|--------------------------------|--|-----|
| 10 | 岩手県 | 事例1 岩手県 | 各地域自立支援協議会での議論の結果を踏まえて、広域的見地から必要な支援を行う事例 ※ その他、厚労省から好事例集(平成30年3月)のうち、数事例を紹介 | 315 |
| 11 | 山梨県 | 事例1 甲州市 (峡東圏域)【未整備】 | 3市(山梨市・笛吹市・甲州市)共通の課題を中心に、官民協働による多様な運営主体の参画を促す基盤整備の事例(面的整備型) | 338 |
| | | 事例2 富士川町 (峡南圏域)【未整備】 | 障害分野における社会資源が少ないため、高齢者施設も活用し「緊急時の受け入れ・対応」、「体験の機会・場」の機能を優先的に整備し、他の機能は段階的に整備していく事例(面的整備型) | 373 |
| 12 | 秋田県 | 事例1 由利本荘市 【整備済】 | 障害福祉サービスと相談支援の機能を併せもつ総合的なセンターを中心として、市内施設等と連携しながら5つの機能を充実を図る事例(面的整備型) | 395 |
| | | 事例2 男鹿市【整備済】 | 協議会が調整機能を担い、既存の施設等による地域の連携体制づくりを重視して整備している事例(面的整備型) | 410 |
| 13 | 沖縄県 | — | ※ 厚労省から好事例集(平成30年3月)のうち、数事例を紹介 | — |
| 14 | 長崎県 | 事例1 時津町 (西彼圏域)【未整備】 | 現在協議会で議論を重ねているが、限られた社会資源等を活用し、各サービス事業所や関係機関等の連携体制により、整備していく事例(面的整備型) ※ その他、厚労省から好事例集(平成30年3月)のうち、数事例を紹介 | 419 |
| 15 | 香川県 | 事例1 中讃東圏域 【整備済】 | 相談支援事業所に配置されたコーディネーターが、事前に契約している協力事業所と連携し緊急時の支援等を行う事例(面的整備型) | 435 |
| | | 事例2 高松市・直島町 【整備済】 | 基幹相談支援センターを中核機能と7つの地区担当機能に分けること等により、サービスを利用していない障害児者を含めて相談や緊急時の受け入れ・対応等を行う事例(面的整備型) | 451 |
| 16 | 新潟県 | 事例1 長岡市【整備済】 | 地区ごとの相談支援事業所が中核となり地域全体で支える体制をつくり、将来的には他分野(高齢・保健等)との連携を図る事例(併用整備型) | 466 |
| | | 事例2 上越市【未整備】 | 複数の障害福祉事業所等で連携を図る「面的整備型」を基本としながら、人口が多い市街化区域等においては、1か所に拠点等の必要な機能を集約した「多機能拠点整備型」も整備する事例(併用整備型) | 476 |
| 17 | 徳島県 | 事例1 板野町(板野郡) 【未整備】 | 協議会が中心となり地域連携体制づくりをすすめ、基幹相談支援センターにコーディネーターを配置し、24時間の緊急時支援体制の構築を図る事例(面的整備型) | 497 |
| | | 事例2 三好市 (西部第2サブ圏域) 【未整備】 | 相談支援、安心コールセンター、グループホーム、短期入所等を一つの拠点に整備するとともに、地域の関係機関との連携体制の強化を図る事例(併用整備型) | 507 |

地域生活支援拠点等の整備促進、必要な機能の強化・充実のためのブロック会議 事例紹介 一覧表

| No. | 都道府県名 | 事例自治体(圏域) | 事例紹介 | ページ |
|-----|-------|----------------------------|--|-----|
| 18 | 北海道 | 事例1 根室市 (根室圏域)【整備済】 | 24時間対応の拠点コーディネーターを配置し、居住支援機能と5つの地域支援機能を圏域で整備する事例(面的整備型) | 541 |
| | | 事例2 北見市 (北見地域)【未整備】 | 基幹相談支援センターの設置を予定し、地域の複数の機関が分担して機能を担う体制を整備する事例(面的整備型) | 562 |
| 19 | 愛知県 | 事例1 半田市【整備済】 | 相談機能を有する基幹相談支援センターを中心とし、特養等既存の社会資源を有効に活用し、地域連携を活かした事例(面的整備型) | 578 |
| | | 事例2 蒲郡市【未整備】 | 基幹相談支援センターが拠点等の機能に包括的に関わりつつ、アドバイザー事業や協議会を活用し、委託事業所、市等、地域の関係者の協働により整備する事例(面的整備型) | 595 |
| 20 | 滋賀県 | 事例1 甲賀市、湖南市 (甲賀圏域)【未整備】 | 相談と緊急時対応等の在宅支援サービスを一体的に提供する拠点として「障害者生活支援センター」を設置し、甲賀圏域の在宅支援マネジメントを行う仕組みを活用した事例(面的整備型) | 612 |
| | | 事例2 東近江市【未整備】 | 市内の2法人が強度行動障害対応型グループホームを併設する施設を地域生活支援拠点等として整備し、コーディネーター機能夜間緊急対応、暮らしや健康管理等への専門的相談等の役割を担うとともに、市域資源との連携体制を強化する事例(併用整備型) | 620 |
| 21 | 三重県 | 事例1 四日市圏域 【未整備】 | 相談支援事業所が24時間電話対応出来る体制を整えつつ、自閉症・発達障害支援センターを二次機関として 支援を繋げていく事例(面的整備型) | 629 |
| | | 事例2 紀南圏域【未整備】 | 障がい者総合相談支援センターと3市町を中心とし、既存の専門性の高い事業所との連携を図る事例(面的整備型) | 651 |
| 22 | 東京都 | 事例1 八王子市【整備済】 | 5カ所の相談支援事業所を中心に、市内の社会資源(各種障害福祉機関)を活用したネットワークを形成している事例(面的整備型) | 668 |
| | | 事例2 大田区【整備済】 | 障がい者総合サポートセンターを中心に、区内の各機関で機能を分担している事例(併用整備型) | 690 |
| 23 | 大阪府 | 事例1 堺市【整備済】 | 総合相談情報センター及び区障害者基幹相談支援センターを中核とし、既存の事業や社会資源を活用し、緊急時受け入れは、日中活動系サービス事業所と短期入所事業所が連携し強化を図り整備している事例(面的整備型) | 710 |
| 24 | 兵庫県 | 事例2 佐用町【整備済】 | 委託相談と入所機能を併せ持つ町内で唯一の社会福祉法人がコーディネーター役を担い、必要な機能は既存の資源を活用し、整備している事例(面的整備型) | 719 |
| 25 | 京都府 | 事例3 京都市【整備済】 | 相談支援事業所等の個別の支援チームを、専門機関等による地域の支援体制及び自立支援協議会を中心としたネットワーク等で、重層的に支える仕組みを整備する事例(面的整備型) | 734 |

地域生活支援拠点等の整備促進、必要な機能の強化・充実のためのブロック会議 事例紹介 一覧表

| No. | 都道府県名 | 事例自治体(圏域) | 事例紹介 | ページ |
|-----|-----------------|--------------------------|---|-----|
| 26 | 石川県 | 福井県 福井市 【整備済】 | 24時間の総合的相談機関を構築するとともに、居室を確保し緊急時の受入れ及び体験の場を整備した事例 (多機能拠点整備型) | 747 |
| | | 事例1 福井県 鯖江市 【整備済】 | ワンストップの相談窓口として「鯖江市地域生活支援拠点センター」を設置し、相談機能を優先的に整備した事例 (多機能拠点整備型) | |
| 27 | 富山県 | 福井県 越前市 【整備済】 | 24時間の相談支援体制、緊急時受入れのための事業所間連携体制を優先的に整備した事例 (面的整備型) | |
| 28 | 福井県 | 事例2 石川県 金沢市 【未整備】 | 緊急時の受入れ・対応と体験の機会・場を優先的に検討することとし、モデル事業やニーズ調査を実施し整備していく事例 | 777 |
| 29 | 青森県 | 事例1 弘前市【整備済】 | 市委託の弘前市障害者生活支援センターを中心に5ヵ所の市委託相談支援事業所及び既存資源の連携体制の強化を行う事例 (面的整備型) | 786 |
| | | 事例2 三沢市【未整備】 | 市内の3箇所の相談支援事業所が中心となり、緊急時対応や体験の場の提供においてコーディネーターの役割を担う事例(面的整備型) | 796 |
| 30 | 愛媛県 | 事例1 松山市【整備済】 | 北部、南部、市全域に対応する3か所のワンストップの相談支援体制を優先的に整備し、地域資源とのネットワーク形成を強化した事例(面的整備型) ※ その他、厚労省から好事例集(平成30年3月)のうち、数事例を紹介 | 806 |
| 31 | 奈良県 | 事例1 生駒市【整備済】 | 「緊急時の受け入れ・対応」、「体験の機会・場」、「相談」の機能を中心に、できることを一つずつ、地域の力を最大限に生かし、整備していく事例(併用整備型) ※ その他、厚労省から好事例集(平成30年3月)のうち、数事例を紹介 | 816 |
| 32 | 茨城県 | — | ※厚労省から好事例集(平成30年3月)のうち、数事例を紹介 | — |
| 33 | 山形県 | 事例1 寒河江市 (西村山地域)【未整備】 | 協議会において、基幹相談支援センターの設置や地域のサービス事業所等の連携体制の強化を検討し、整備していく事例(併用整備型) | 868 |
| 34 | 鳥取県 | — | ※ 厚労省から好事例集(平成30年3月)のうち、数事例を紹介 | — |
| 35 | 佐賀県 | — | ※ 厚労省から好事例集(平成30年3月)のうち、数事例を紹介 | — |
| 36 | 高知県 | — | ※ 厚労省から好事例集(平成30年3月)のうち、数事例を紹介 | — |
| 37 | 宮城県 | 事例1 宮城東部地域 【整備済】 | 2市3町の基幹相談支援センターを運営する法人にコーディネーターを配置し、24時間365日の緊急相談や駆けつけなど緊急時の対応を中心に整備した事例(多機能拠点整備型) | 878 |
| | | 事例2 亘理町【整備済】 | 基幹相談支援センターが拠点コーディネートの役割を担うとともに、緊急時の相談や受け入れなど地域の相談支援の核となる機能を重視して整備した事例(多機能拠点整備型) | 916 |
| — | (参考)厚生労働省行政説明資料 | | | 925 |